

金沢都市圏総合都市交通計画協議会では、金沢都市圏において、昭和49年の第1回調査を皮切りに、概ね10年ごとに調査を実施しており、今回が第4回目の調査です。

これまでの3回の調査結果をもとに金沢外環状道路などの都市計画道路網、バスなどの公共交通網、歩行者・自転車交通計画等の各種交通施策の検討を行い、都市交通環境の向上を図ってきました。

今回の第4回金沢都市圏パーソントリップ調査では、山側環状の全線供用や海側幹線の部分供用により都市圏の交通流動が大きく変化したことや、人口減少・高齢化の進展、さらには北陸新幹線開業などを迎えることから、社会情勢や交通環境の変化に対応した都市交通のあり方について検討を行っております。

平成19年度は、平成19年10月から12月にかけて、「人の一日の動き」を把握するために実態調査(パーソントリップ調査)を行い、平成20年度は、調査した結果に基づき望ましい都市交通のあり方に関する分析・予測を行っております。

今回、パーソントリップ調査結果の概要をとりまとめ、将来の金沢都市圏の総合都市交通『人と環境にやさしい魅力ある都市づくりを目指した都市交通体系のあり方』を示したパンフレットを作成いたしました。

調査の実施にあたり、数多くの方々に貴重なご意見やご協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げますとともに、この成果がこれからの快適で、魅力あるまちづくりの実現に寄与していくことを期待しております。

平成21年3月

金沢都市圏総合都市交通計画協議会 会長
石川県技監 国田 雅人

目次

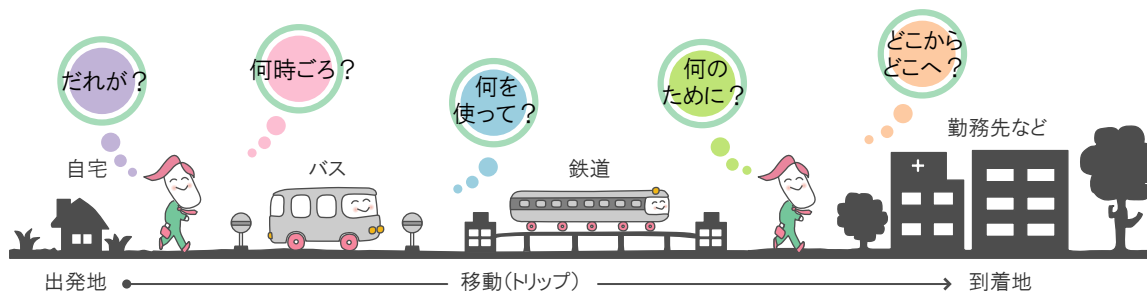


はじめに	01
金沢都市圏パーソントリップ調査の概要	02
金沢都市圏の人の動き	03
金沢都市圏の交通機関利用の状況	05
金沢都市圏の中心部・高齢者等の交通特性	07
金沢都市圏の自動車交通量	09
金沢都市圏の総合都市交通計画	11

金沢都市圏パーソントリップ調査の概要

● パーソントリップ調査とは

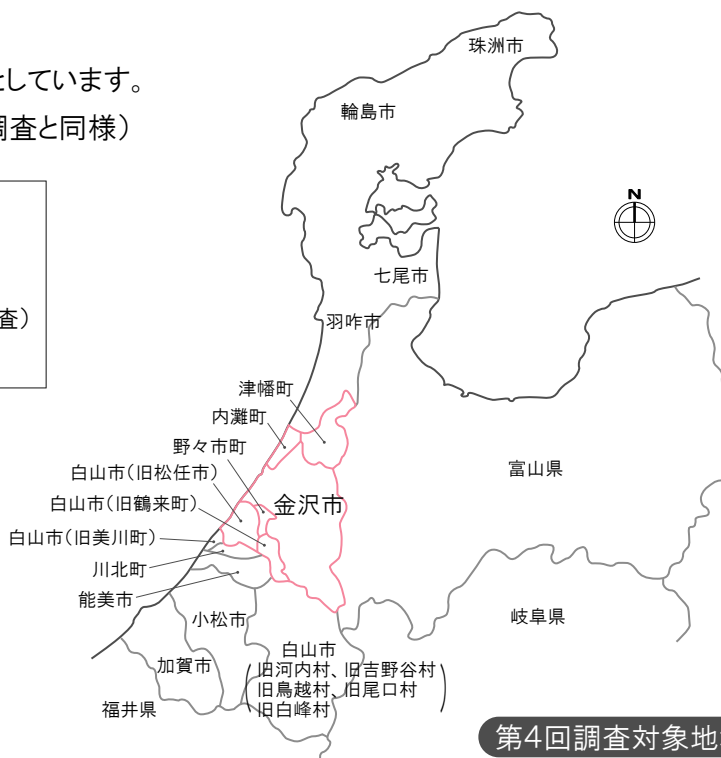
パーソントリップ調査は、「どのような人が」「いつ、何の目的で、どこからどこへ、どのような交通手段で動いたか」について「一日の人(パーソン)の動き(トリップ)」を調査し、現在の交通行動の把握・分析や将来の交通量を予測し、都市圏の望ましい都市交通のあり方を検討するために行う調査です。



● 調査対象圏域

金沢市を中心とする2市3町を対象としています。
(第3回金沢都市圏パーソントリップ調査と同様)

対象市町：
金沢市、白山市(旧松任市、旧鶴来町)、
野々市町、津幡町、内灘町
人口：約65.4万人(平成17年国勢調査)
世帯数：約25万世帯



第4回調査対象地域

- 調査の対象 調査対象者は、金沢都市圏にお住まいの5歳以上の方を対象としました。
- 調査の方法 平成19年10月から12月にかけて、金沢都市圏内の事務所、商店街、行政機関等の従業者の世帯および高齢者世帯、大学生の方々にご協力いただき、実施しました。
- 回収の結果 今回の調査では、およそ1万6千世帯にご協力をいただきました。